

教科「地理歴史」

科目「世界史A」

類型（2年文型・理型）

単位数	2
担当者	佐藤寛 池野
教科書	『要説 世界史A』（山川出版社）
副教材等	『グローバルワイド最新世界史図表』（第一学習社） 『新世界史A 要点ノート』（啓隆社）

【1】 科目の目標

世界の歴史的な形成と生活・文化の地域的な特色についての理解と認識を深めること、世界の諸地域における人間の生活環境・社会的特色を把握することなどを通じて国際社会において主体的・平和的に生きる資質を養う。

【2】 科目の内容と進め方

期間	学習項目	指導上の留意点	備考
1 学期	文明の誕生 古代世界の概観 イスラーム世界 中世欧州 近世欧州	諸文明の成立と国家の興亡を巨視的にとらえさせる 大航海時代・ルネサンス・宗教改革という近世世界形成のポイントを理解させる	可能であればテーマ学習として「宗教」を取り上げ、倫理の学習内容とのリンクを図る
2 学期	欧州主権国家体制 近代世界システム成立 近代市民社会 産業革命 帝国主義の成立 第一次世界大戦	環大西洋革命としての市民社会の成立を理解させる 産業革命の世界に与えた影響について考えさせる 近代国民国家同士の戦争の性格の変化について、近代以前との比較を行う	国家総力戦がその後の戦争に与えた影響について考える
3 学期	戦間期欧州 世界恐慌とファシズム 第二次世界大戦 冷戦期の世界	資本主義と社会主義の対立としての冷戦期までを概観し、冷戦以後に生きる我々にとっての世界史像を考える	パレスティナ問題について学習する機会を設け、時事問題とのつながりについて考えさせる

【3】 学習形態

一斉授業・講義形式

【4】 学習上の留意点

予習として教科書を読んだうえで授業を受講し、小单元ごとに『要点ノート』に書き込んで学習内容を整理する

【5】 評価の方法と評価の観点

- ① 評価の観点 理解・興味関心・取り組みを総合的に評価する
- ② 評価の方法 評価は定期考査が8割、平常点2割の合計点で行う